

「性教育の在り方を考えよう」

～10代での妊娠～



NPO法人
命と性の相談室代表理事
松井知子

『社会問題を一緒に考えませんか？』

- ✓今の教育に疑問を感じている
- ✓子どもを守るために身体の大切さを伝えたい
- ✓教育や保育に関わり性教育を広げたい
- ✓子どもを性の被害・加害から守りたい

協賛企業：オカモト株式会社・TENGAヘルスケア

オンライン同時開催

3月17日(日)14:00～15:30

会場：元町レンタルスペースジェム3F
(中央区元町通2-3-2)

参加費：大人2000円、学生500円

お申し込みはこちらのQRコードより
後ほどZOOMリンクを送付いたします。



当日は、パネル展示やゲストトークだけでなく、「10代の妊娠」をテーマにグループディスカッションも予定しています。

ゲスト：杉山 衣久美

ナビゲーター：古賀佳奈子
障がい福祉ジャーナリスト



高校2年生で妊娠・出産、高校中退。
その後通信制高校に転校し卒業。
離婚を考えていた矢先、家庭内レイプで思いがけず1妊娠。一度は中絶を考えるも18歳で二人目を出産し、その後離婚。
看護助手として働きながら看護学校へ進学。
7年前、20歳になった長男の後押しもあり、助産師学校へ進学し、「助産師」となる。



お問い合わせ・電話相談は
「命と性の相談室」の公式LINEへ

